

編集と発行 館山市秘書課 館山市北条1,087番地 電話館山67,68,701番

(毎月1回発行)

|     |               |
|-----|---------------|
| 總人口 | 62,655人       |
| 男   | 29,937人       |
| 女   | 32,718人       |
| 世帶數 | 14,021世帶      |
| 出生  | 143人(男79,女64) |
| 死亡  | 127人(男69,女58) |
| 婚姻  | 71件           |
| 離婚  | 7件            |
| 死產  | 16件           |

富崎測候所

月の始めは一時的に顯著な暖気流の浸入が予想されるので二・三日気温はかなり高い日があるでしょう。その後は大陸の強い高気圧が発達し、高気圧が発達し、冬型の気圧配置が発達する見込で乾燥した晴天が続きます。気温も中旬以後は平年より低目と少ないでしょう。降水量は少ない見込です。

|          |             |
|----------|-------------|
| 二月<br>上旬 | 五<br>·<br>八 |
| 中旬       | 六<br>·<br>五 |
| 下旬       | 七<br>·<br>三 |



10

# 着々と実を結ぶ各施策

A black and white portrait of a middle-aged man with dark, wavy hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a dark tie. The portrait is set within an oval frame.

国立公園の  
 決定とともに  
 に続々とし  
 て時代的脚  
 光を浴びて  
 来た、館山  
 市新観光資  
 源の開発、  
 すなわち八  
 あまりにもよくにた偶然  
 に、今更乍ら驚異を感ず  
 るとともに、全身が一時  
 に引きしまるのを覚える  
 のであります。  
 私はこの時にあたり、  
 益々皆様のこの期待にそう  
 べく、渾身の力をふりし  
 ばり我が愛する館山市の  
 ては、国民年金の施行に  
 より、老年となられ第一  
 戦から引退された方々、勤  
 き手をなくされた母子家  
 庭、不慮の災害により働  
 く希望を失つた方々に國  
 民の相互扶助によりまし  
 て、一定の年金を支給す  
 るお年玉、すなわち國民

樋海岸に建設される館山  
 会館・大砂平ゴルフ場等  
 と着々としてその緒につ  
 いたのであります。  
 こうして今年は、我  
 々館山市にとつても誠に  
 画期的な年となり、かつ  
 市制施行二十周年を迎え  
 て次の十年の飛躍への誠  
 に貴重なる第一年を迎え  
 たのであります。  
 この館山市の現実を思う  
 ときに、我が国のそれに  
 劣屈に尽力してまいる所  
 存であります。  
 幸いにして、絶大なる  
 皆様のご支援により、私  
 の念願といたしておりま  
 した新庁舎の建設と鏡ヶ  
 浦海岸ドライブウェイ  
 を一環とする海岸公園の  
 実現も着々としてその実  
 績をあげる事が出来、其  
 の他、土木・教育施設の  
 拡充・産業の振興、特に  
 社会福祉の面におきまし  
 た年金手帳もつぎつぎと皆  
 様のお手許にお渡し出来  
 る等、すべての面におき  
 まして曲りなりにもご満  
 足のいける施策を打ち出  
 しえました事に對し、ここ  
 にあらためて、皆様に  
 衷心から感謝いたす次第  
 であります。  
 なお、市制施行二十周  
 年及び新庁舎落成を祝賀  
 すべく、陽春四月に計画  
 いたしました、記念式典

よりよき市政へ

新しき時代にそなえて

市議會議長  
萩生田七郎



施行二十周年の記念式典が行われることとなつておりま

す。

二十周年と申しますと人生に例をとりますと

道でありました。

その間よく市当局と市議会とが二者一体となつて市財政再建への努力を続け、遂に昨年に至り黒字

財政の基盤を確立し本年はその第二年目を迎えたわけでありまして、誠に同慶のいたりでございます。

五穀豐穰たるるうちに、平和な新春を迎え心から六万市民各位に「賀春」のお言葉を贈りいたします。

ご承知のようにわが館山市にとり、本年は市勢躍進の跳躍台に立つていと申しても過言でないかと存じます。

陽春四月、待望の新市庁舎が竣工し、同時に市制的に、文字通りいばらの

れば、成人式を迎える事であり、私は過去十余年市政に関与して参りましたので、わが館山市勢がよきも今日までに躍進したるものかなとの感をひとしを深くするものであります。

思えば過去の十年は、財政的には勿論、市政全般に、文字通りいばらの

この健全財政の基盤に立つて、本年こそ市民のためのよりよき市政へ、大巾に踏み切る段階にあります。

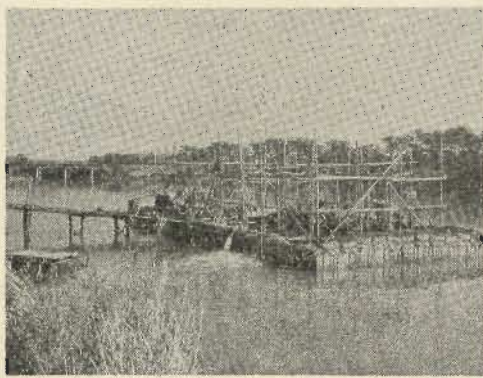
特に南房総国定公園の実現に伴い、観光館山の一躍進を図るべく着々その施策が進められておりますので、数年後の館山は見違えるような発展を

には、市制に功勞のあつた方々、並びに関係者の皆様を多数お招きいたすと同時に、館山市歌を制定、その発表会を举行し全市民が声を合せ館山市の前途をお祝いしたいと存じております。

「一億一心」といふ古い言葉を記憶しておりますが、六万市民が一丸となり、一致協力して、この記念すべき第一年を育成して行くならば、必ずや明るい住みよい館山市となり、来るべき時代には六万市民から十万市民と呼ぶ、大館山市の実現近きことを信じて疑はないものであります。

この希望に明けた昭和三十五年の新春にあたり大いに館山市の前途を祝福して、年頭のご挨拶にかえるとともに、皆様益々御多幸ならんことをお祈り申し上げる次第であります。

# 着工された—— ——湊川の新橋梁工事



ます船舶職員の養成講習  
会が、本年も県と共催で  
一月十四日から二月三日  
までの二十一日間、市内  
水産試験場会議室で行わ  
れております。

今回は特に航海科の講習  
を主としており、この講  
習会が終了後二月五日か  
ら水産試験場で一乙種三  
等航海士・丙種船長・丙  
種航海士・小型船舶操縦  
士」の四科目について国

**各家庭で  
必ず門標を**

火災警報」の場合

守ろうこんな注意を

時の火災は消火が困難で大火になる危険が大きいので、ふだん何んでもない一寸の不注意が、とんでもない事に

▽山林・原野で火入れ

て次のような事を充分守つて下さい。

▽屋外でのたき火をしないこと。

▽山林・原野で火入れ

各家庭で  
必ず門標を

なお、この橋の長さは、安房郡内で一番長い橋となります。

船舶職員  
養成講習会

毎年当市で開催しております。

家試験を行うことになっております。

この国家試験は、主にこの講習を受けた受講者を対象としておりますが、特に希望される方は、受講者でなくても受験できます。

お忘れなく

海技免状の引換を

(1) 昭和三十三年三月三十一日以前に交付された小型船舶操縦士以外の資格のある海技免状受有者で、昭和二十六年十月十四日以前にその交付を受けた者。

(2) 昭和二十六年十月十五日以後に交付を受けた海技免状受有者で、特に有効期間が記載されていない者は、昭和三十三年三月三十一日まで、引換申請をする必要がありません。

## 農地売買の注意

農地の売買は、県知事の許可を受けなければならぬ事は、すでにご承知の通りですが、いまだに許可を受ける前に売買契約が成立し、金銭の受授まで行われているのが少なくないようです。

この様な行為は、農地法違反のみでなく買主側がしばしば不利になる様な問題が生じます。

では、どのようなことで不利になるかとい  
ますと、買受ける農地が実際は地主の自作地  
でなく、小作地であつたり（小作地の売買は  
出来ない）売る契約の相手方が実際には登記  
簿上の所有権者でなかつたりして、金銭の受  
授まで行つたのにもかかわらず、許可を受け  
る事も出来ないという場合があります。

この様な事は一寸考えられない様な事です。但实际上に実例があり一寸の注意が必要でです。ですから売買の協議が出来たら、まず農業委員会を経由で、県知事の許可を受ける様にして下さい。

又金銭の受授をし、耕作権も取得し、立派な自作地のつもりでいて、登記のみ放任し、数年後登記をやろうとして地主に申し入れたと

ころ。当時の価格と現在の価格とは大きな開きがあるからと増額を要求され、当時、お互いの信頼の上に行われた契約であつたにもかかわらず、仇敵視するような事例もあります。この様な問題も、正式の許可を受けてあつての事件でしたら、登記を履行させる方法もとれるのですが、でない場合は解決も多大な困難が生じます。又、農地を買い資格者につい

て申しますと、旧市・西岬・富崎地区では一反歩以上耕作をしている者で、将来とも農業に精進する者という事になつております。ですから買つておいて将来宅地にしようとする者は資格がないわけです。

○該当者 四月小学校へ入学

ジフテリア・百日咳予防注射

伝染病ジフテリヤの流行シーズンがやってきました。  
恐ろしいジフテリヤから皆様の可愛いお子様を守る  
ために、予防注射は必ず受けましょう。

○該當者 四月小学校へ入学する児童、まだ三回すんでいない児童。

○料金 一回目三〇円、二・三回目五〇円（国民保険に加入者は無料）

○場所 ①20日東小（1時30分～2時30分）21日洲の崎分校（2時まで）21日西小（2時30分～3時30分）22日北条小（1時30分～3時30分）23日畑小（2時30分～3時）25日館野小（1時30分～3時30分）27日九重小（同時時間）28日豊房小（1時～2時）28日神余小（2時30分～3時30分）29日船形小（1時30分～2時30分）30日館山小（1時30分～3時）



昨年までに結成の納税組合

|      |           |       |     |
|------|-----------|-------|-----|
| 職域組合 | 組合名       | 組合長   | 世帯數 |
| 房南   | 松崎市太郎     | 〇五    |     |
| 本館山  | 松本藤太郎     | 二五    |     |
| 自動車區 | 吉野        | 伝 一〇〇 |     |
| 房州ガス | 山田        | 敦手 一七 |     |
| 刀圭会  | 鶴沢貫寛      | 二〇〇〇  |     |
| 市役所  | 安西孝太郎     | 一四    |     |
| 青果商  | 三平        | 宏 〇〇  |     |
| 日東交通 | 小宮卯之吉     | 七     |     |
| 布良   | 天野三之助     | 五     |     |
| 漁業者  | 淺倉 岩松次    |       |     |
| 相浜   | 二 山野竹次郎   | 〇     |     |
| 館山地区 | 三 酒井清治郎   | 〇     |     |
| 新井第一 | 好 鈴木 鶴藏   | 〇     |     |
| 仲    | 交 佐久間藤吉   | 七     |     |
| 親    | 町 福原 七郎   | 六     |     |
| 下    | 町 寒川小三郎   | 三     |     |
| 上須賀  | 一 吉田仁之助   | 二     |     |
| 仲    | 三 島山治郎    | 二     |     |
| 真    | 東 井 政吉    | 七     |     |
| 之    | 倉 石井 省吾   | 六     |     |
| 仲    | 崎 服部武治郎   | 六     |     |
| 柏    | 二 猪飼 千恵   | 六     |     |
| 西ノ浜  | 一 鈴木 徳松   | 五     |     |
| 五    | 小 芝 久輔    | 三     |     |
| 六    | 七 松野 貞助   | 三     |     |
| 岡    | 沼 後藤 一雄   | 五     |     |
| 下    | 沼 鈴木辰之助   | 五     |     |
| 西    | 原 久佐沢信次郎  | 元     |     |
| 登    | 名 加藤 和光   |       |     |
| 宮    | 城 高橋 理紀   | 六     |     |
| 宮    | 大 賀 石川 勝藏 | 四     |     |
| 青    | 柳 小井 金藏   | 二     |     |
| 上須賀  | 二 姫松 栄    | 三     |     |
| 四    | 吉 井 清     | 二     |     |
| 五    | 鈴木 博      | 三     |     |
| 六    | 小田喜敏      | 二     |     |
| 町    | 石井吉之助     | 宅     |     |
| 北条地区 | 岡田 甚蔵     | 四     |     |
| 南町第一 | 官 岸 國一郎   | 三     |     |

今春中学を卒業される方の就職は、大分明るい状況です。

安定所を通じて就職しようとする方は四〇〇名おりますが、これに対する求人は七〇〇名を越しており、数だけを見ると特に男子の就職は楽だといえます。

これらの求人は、各中学の方にそれぞれ連絡してありますので、先生とよく相談していただきたいと思ひます。

ところで今年の求人を見て気のついた点を申し上げてみますと、まず名前前のおつた求人が川崎を始め、日本冷蔵・三井造

船・日本毛織・北辰電氣  
大日本インキ・帝國紡績  
などがずらりと並び、し  
かもいづれも採用数の増  
加が見られます。  
その他に、近くでは富士  
デイーゼル・日東交通な  
ど、私達も安心しておま  
かせ出来る求人が増加し  
ております。  
と同時に、待遇面も昨年  
より改善され、給与も五  
〇〇円は増額されている  
ようです。

又昨年市内の商店が集つて、集團求人という方式で募集を行いました。が本年はこれに医師会も加わり、それぞれ二団体が給与規定を設けて待遇の改善を計つております。

三  
 ただ就職される方々並びに父兄の皆さんにお願いしたいのですが、就職先を決める際にはよく検討して決めていただきたい。

就職状況

ものです。

誰れさんに頼んであるから安心だ——などという、いわゆる縁故就職される方が多いようですが、結果がよくならなかつたり就職時期をはずしてし

まうことも、よく耳にしますのご注意いただきたいと思います。

なお、当館山市に水産加工技術を無料で教える職業訓練所（近く船形に新築移転の予定）があり、今年三月も又修了生を出しますが、もうだいたい就職は決つております。

今迄の修了生も各地で活躍し、中堅幹部或いは主人の片腕、中には独立してやつている人もあります。今四月の入所生を募集していますので、つけ加えてお知らせいたします。

（館山公共職業安定所事務官中山晴彦）

|        |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|
| 佐布茂    | 富崎地区 | 相神田  | 豐房地区 | 東長田  | 西長田  | 出野尾  | 岡田   | 南大戸  | 古茂山   | 作名    |
| 沼石名    | 三渡辺  | 浜長谷川 | 諷訪重藏 | 諭訪重藏 | 鈴木義雄 | 山口才治 | 波辺益治 | 飯田良平 | 安西伊三郎 | 扶佐藤金治 |
| 土橋三代嗣二 | 清司   | ね七香七 | 豊崎彦一 | 六郎   | 六郎   | 三郎   | 三郎   | 喜臣五郎 | 三郎    | 輝彦三郎  |

|   |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |
|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 田 | 大  | 江 | 田 | 橫 | 滝 | 相 | 水 | 園 | 二 | 安 | 清 | 北 | 南 | 宝 | 九 | 広  | 広  |
| 村 | 堀  | 田 | 辺 | 枕 | 谷 | 賀 | 井 | 玉 | 子 | 東 | 水 | 台 | 台 | 貝 | 重 | 瀬  | 瀬  |
| 波 | 今  | 神 | 龜 | 小 | 久 | 久 | 長 | 鈴 | 高 | 茅 | 福 | 中 | 小 | 高 | 鶴 | 第一 | 第一 |
| 辺 | 井  | 作 | 田 | 林 | 保 | 保 | 谷 | 木 | 橋 | 野 | 原 | 吉 | 芝 | 橋 | 下 | 一  | 一  |
| 清 | 知  | 隆 | 茂 | 誠 | 保 | 壽 | 房 | 箸 | 広 | 正 | 忠 | 郎 | 正 | 蕉 | 保 | 保  | 保  |
| 三 | 十二 | 昌 | 昌 | 三 | 三 | 三 | 次 | 五 | 三 | 三 | 二 | 三 | 二 | 三 | 四 | 二  | 二  |

歴史 地誌 社会 科学 自然 科学 産業 文学  
アメリカ探検記  
珍品堂主人  
サイパン島の最后  
梨の花  
バイナツブル部隊  
上海の朝第一節上  
世界紀行文学全集  
イギリス・スペイン  
東京アメリカ文化  
ホレース・マン研  
平和への道  
民主政治への条件  
アメリカの経済  
人類の百万年  
宇宙と生命  
問題の上手な処理  
マーク・トウェー

卷  
 第四卷  
 ・ポルトガル編  
 センター寄贈圖書  
 元  
 チエスター・ポール  
 坂西志保  
 関  
 アルヴァイン・  
 小原敬士・伊  
 アシユレ・モン  
 H. シャー  
 草下英明  
 C. A. セラ  
 山田信一郎  
 短篇集三・四卷

|   |   |   |   |   |    |    |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |
|---|---|---|---|---|----|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|
| 神 | 若 | 三 | 新 | 八 | 湊  | 高  | " | " | 上 | 島 | 那 | 東  | 宿  | 浜  | 那 | 協 |
| 明 | 葉 | 本 | 四 | 新 | 八  | 井  | " | " | ノ | 原 | 古 | 藤  | 寺  | 第  | 古 | 協 |
| 町 | 會 | 通 | 須 | 宿 | 第一 | 第一 | 三 | 四 | 原 | 通 | 地 | 第一 | 七  | 一  | 濱 | 會 |
| 宮 | 佐 | 杉 | 賀 | 加 | 小  | 小  | 渡 | 小 | 井 | 太 | 區 | 加  | 二  | 赤  | 小 | 杉 |
| 沢 | 野 | 井 | 多 | 藤 | 瀧  | 瀧  | 辺 | 田 | 上 | 田 |   | 藤  | 山  | 福  | 童 | 田 |
| 幸 | 喜 | 貞 | 浦 | 長 | 政  | 政  | 定 | 晃 | 作 | 輔 |   | 榮  | 義  | 中  | 蔵 | 立 |
| 治 | 司 | 司 | 治 | 松 | 治  | 治  | 次 | 輔 | 一 | 六 |   | 一  | 一郎 | 武  | 久 | 江 |
| 郎 | 一 | 三 | 郎 | 元 | 五  | 三  | 六 | 八 | 云 | 八 |   | 四  | 四  | 太郎 | 蔵 | 三 |
| 遇 | 六 | 六 | 五 | 九 | 三  | 三  | 六 | 六 | 三 | 六 |   | 四  | 四  | 四  | 〇 | 三 |

[illegible]

柳 塚 出口 長松二  
大塚第一 武田喜一郎三  
" " " " 二茂木 金作三  
" " " " 五斎藤 国松三  
大 六山崎五郎吉六  
塚 荒井伝三郎二

**新春出初式**

毎年恒例の消防出初式が七日午前九時から二中校庭で、市内全消防（消防団五百四名・消防署四十名・富士チ―ゼル二十一名・房南中生徒二十六名）が参加して、午前中一ぱい機械器具の点検・ポンプ操法・放水などの演習又消防功労者永年勤続者などの表彰を行った。

【写真】田村消防長の点検を受ける全消防署・団員



|   |   |    |    |     |        |   |   |        |   |   |   |    |    |   |   |   |    |    |   |       |      |      |    |    |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |    |   |   |    |    |     |   |   |       |     |       |   |    |    |    |   |   |    |     |      |    |    |   |    |    |    |
|---|---|----|----|-----|--------|---|---|--------|---|---|---|----|----|---|---|---|----|----|---|-------|------|------|----|----|---|---|----|---|----|----|---|----|----|---|----|-----|---|---|----|---|---|----|----|-----|---|---|-------|-----|-------|---|----|----|----|---|---|----|-----|------|----|----|---|----|----|----|
| 坂 | 田 | 鈴木 | 全竜 | 波左間 | 佐野勘左衛門 | 七 | 早 | 物佐野栄治郎 | 四 | 浜 | 田 | 池田 | 貞雄 | 三 | 塩 | 見 | 飯沼 | 龜吉 | 香 | 白石巳之助 | 西岬地区 | 川名第一 | 鈴木 | 竹松 | 二 | 関 | 末吉 | 三 | 嶋田 | 武芳 | 六 | 飯島 | 一郎 | 八 | 庄司 | 千太郎 | 一 | 三 | 岸根 | 弘 | 川 | 一五 | 鈴木 | 福四郎 | 二 | 葉 | 山梨貞一郎 | 川名岡 | 和泉沢賀一 | 川 | 第一 | 鈴木 | 市藏 | 堂 | 二 | 安田 | 峯三郎 | 川名第四 | 庄司 | 忠七 | 堂 | の三 | 戸沢 | 重雄 |
|---|---|----|----|-----|--------|---|---|--------|---|---|---|----|----|---|---|---|----|----|---|-------|------|------|----|----|---|---|----|---|----|----|---|----|----|---|----|-----|---|---|----|---|---|----|----|-----|---|---|-------|-----|-------|---|----|----|----|---|---|----|-----|------|----|----|---|----|----|----|

|      |        |    |    |
|------|--------|----|----|
| 洲    | 崎池田    | 公意 | 四  |
| 西川名  | 出口藤左衛門 | 八  |    |
| 伊    | 戸黒川    | 誠七 |    |
| 根    | 本佐野    | 喜男 | 四  |
| 坂    | 足小沼    | 昇三 |    |
| 小    | 津島     | 義雄 | 三  |
| 坂    | 井山崎    | 武雄 | 三  |
| 見    | 物石井吉五郎 | 資  |    |
| 神戶地区 |        |    |    |
| 香    | 取大場    | 達藏 | 一公 |
| 中    | 郷鈴木    | 庄吉 | 一  |
| 西    | 町小沢    | 康治 | 一  |
| 川    | 坂吉田    | 重雄 | 三  |
| 上    | 郷長田秀太郎 | 三  |    |
| 中    | 吉田     | 卯一 | 三  |
| 松    | 岡早川    | 茂  | 二  |
| 竜    | 岡黒川小四郎 | 三  |    |
| 蒲    | 生石井    | 芳松 | 三  |
| 犬    | 石伊藤    | 恒夫 | 三  |
| 藤原第一 | 小川金五郎  | 三  |    |
| "    | 三安西    | 武一 | 二  |
| "    | 二安西    | 俊平 | 二  |
| 谷藤原  | 安西     | 祐治 | 一  |
| 洲宮第一 | 渡辺     | 栄藏 | 一  |

[illegible]

〃 憲法遺言  
 〃 日本残酷物語 第  
 〃 ズバリ直言  
 〃 新党への道  
 〃 校長論  
 〃 妹以前の事  
 〃 雪国の春  
 〃 桃太郎の誕生  
 工学 〃 味喰汁三百六十五  
 〃 家庭医学  
 〃 絶対健康法と食法  
 産業 〃 花木園芸十二月月  
 芸術 〃 日本の古代芸術  
 〃 日本の彫刻  
 文字 〃 けもの眠り  
 〃 大阪城物語 第三巻  
 私本太平記 第四巻  
 〃 敦 連  
 〃 高木家の人々 他二  
 〃 現場を見た人  
 〃 にやり交遊録  
 〃 この一年  
 〃 日本三文オペラ  
 〃 明治恋風  
 〃 愛の歴史  
 〃 自由との契約 第二

部 療 法 部

金 藤 德 次  
下 中 邦 政  
西 尾 末 信  
重 松 敬 國  
柳 園

植 原 路 嘉  
田 中 義 雄  
淺 山 英 正  
大 下 野 田  
久 野 田  
菊 村 元 利  
吉 川 英 三  
井 上 久 雄  
角 田 喜 久  
高 木 彬 三  
山 田 清 三  
石 黒 敬 二  
小 泉 新 三  
開 下 俊 作  
岩 下 俊 作  
田 村 泰 次  
五 味 川 純 一

|    |     |     |      |
|----|-----|-----|------|
| 西  | 仲   | 堂   | 船形地区 |
| 第五 | 二の二 | 一の四 |      |
| 山本 | 宿平野 | 高尾  |      |
| 斎藤 | 嘉一  | 由雄  |      |
| 浅雄 | 二   | 清三  |      |
| 四郎 | 三   |     |      |

|        |         |       |         |         |        |        |        |        |          |         |           |          |
|--------|---------|-------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|----------|---------|-----------|----------|
| 東      | "       | "     | "       | "       | "      | "      | "      | 根岸第一   |          |         |           |          |
| 一渡辺ハナニ | 二石井祐次郎六 | 五根形操九 | 七中山太郎二〇 | 八鈴木春吉二〇 | 一石井弥一三 | 二松本安二二 | 三和田憲三一 | 四羽山律三三 | 一〇高尾清治一六 | 一一杉山茂六一 | 一二鈴木幸一郎二三 | 一三松永賢司二〇 |

房州地方は常春の国と云われ、その温暖な氣候はよく一般に知られているところです。

今東京の氣候と富山の氣候とを一月について比較して見ると、気温は平均六・八度で東京より約二・一度高く、又最高・最低気温の平均値もそれぞれ二・一度程高くなつて

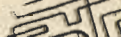
二月中旬で東京より一ヶ月おそく終霜日は二月下旬で約一ヶ月早い。又東京では一月中旬に霜の降りる日が二十

分る。これは房州の地理的な条件によるもので、三面海に囲まれ房州沖には、黒潮が流れ気候は海洋性の特質をうけて夏は涼しく冬は暖かく常春の國と云われる所以です。

△  
（富崎測候所）

分類 書 名 館

總記 戦後の教育現代史  
 歴史 明治の日本 日本  
 地誌 流人の島 第  
 社会 日本民俗大系 第  
 科学



新

入荷  
圖書案内  
市立圖書館分  
著訳編者  
養全集十六  
白井吉良  
岡田章雄  
淺沼良次  
下中邦彦  
三卷  
一巻  
歴史

明るい見通しの

## 中学卒業生の就職状況

## 房州の一月の氣候

温は平均六・八度で東京より約二度高く、又最高・最低気温の平均値もそれぞれ二度程高くなつてゐる。霜の降り初めは十一月二日あるが富崎では二・三日しかない。これを見ては房州地方は東京などよりもかなり温暖であることが

△  
く常春の園  
と云われる所以です。  
(富崎測候所)

十  
十

新入荷  
図書案内  
市立図書館